

『川内地域の緊急時対応』が改定されました

7月20日に国の関係省庁や県、関係市町が参加した川内地域原子力防災協議会において、原子力災害時の対応手順等を具体的に示した『川内地域の緊急時対応』について、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止対策などを盛り込んだ改定が行われました。

改定のポイント 1 新型コロナウイルス感染症等の流行下における各種防護措置の具体化

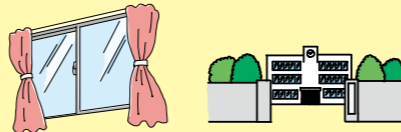
●避難車両、避難所などにおける感染拡大防止

- 避難又は一時移転を行う場合は、感染者とそれ以外の者との分離、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗いなどの手指衛生等の感染対策を実施する。
- 原子力災害の発生状況、感染拡大の状況、避難車両や避難所等の確保状況など、その時々状況に応じて、車両や避難所を分ける、又は同じ車両や避難所内で距離や離隔を保つなど、柔軟に対応する。



●屋内退避時の感染拡大防止

- 自宅等で屋内退避を行う場合には、放射性物質による被ばくを避けることを優先して屋内退避を実施し、換気については、屋内退避の指示が出されている間は原則行わない。
- 自然災害により指定避難所等で屋内退避をする場合は、密集を避け、極力分散して退避することとし、これが困難な場合には、市町が開設する近隣の別の指定避難所等や、あらかじめ定められているUPZ外の避難先へ避難する。



改定のポイント 2 甑島列島内における避難先施設の追加

- 上甑島及び中甑島のあらかじめ定められた避難所が自然災害等により使用できない場合は、下甑島の避難所へ避難する。

詳しくは内閣府のホームページをご覧ください。

川内地域の緊急時対応 [検索](#)

令和3年度 第2回 原子力安全対策連絡協議会を開催しました

川内原子力発電所周辺の住民の安全と環境の保全を図るため、「原子力安全対策連絡協議会」を年4回開催しています。知事の進行のもと、環境放射線調査結果等について協議などが行われました。

日時 令和3年8月20日(金) 午前10時30分～11時25分

場所 県庁 行政庁舎6階 災害対策本部室(テレビ会議)

構成委員

鹿児島県	知事/議長	県漁業協同組合連合会	会長
薩摩川内市	市長/議長	県農業協同組合中央会	会長
いちき串木野市	市長/議長	県商工会議所連合会	会長
阿久根市	市長/議長	県商工会連合会	会長
		県医師会	会長

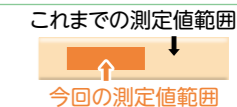


川内原子力発電所周辺の環境放射線調査結果

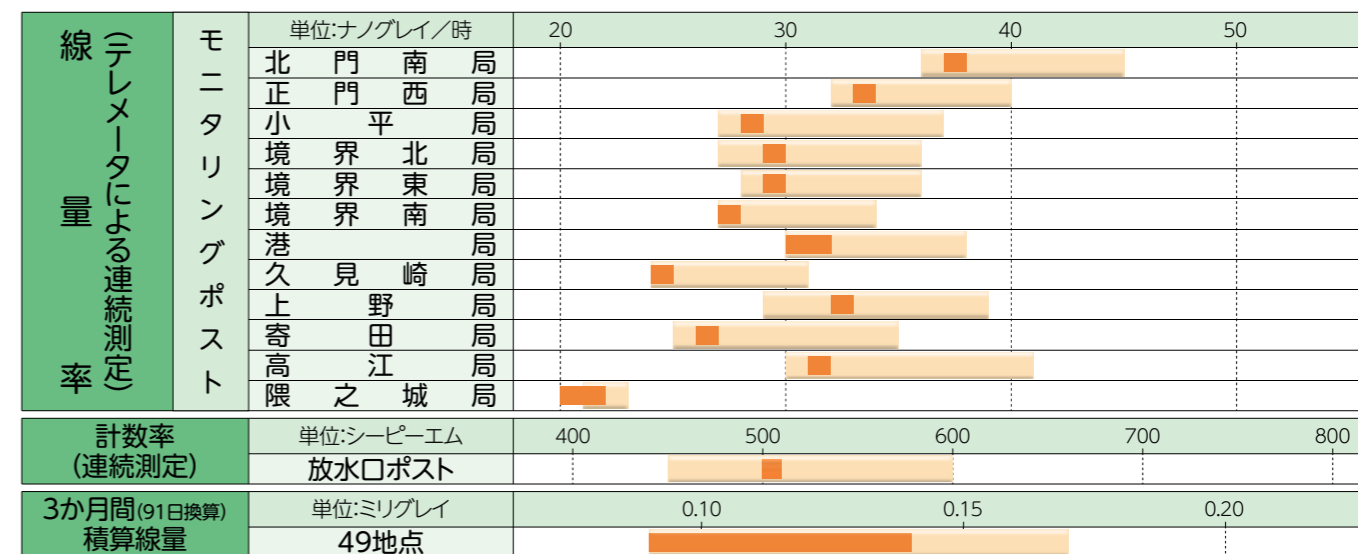
県では、川内原子力発電所の運転による影響を調べるため、発電所の試運転開始前の昭和56年から、周辺地域の空間放射線量や、周辺で採取した野菜・水等に含まれる放射性物質の測定を行っています。

空間放射線量の測定(令和3年4月～6月)

モニタリングポスト(73局)の空間放射線量と、発電所の放水口ポスト(1局)における海水中の放射線量を、テレメータシステムを用いて常時監視しています。また、発電所周辺の49地点において、3か月間の積算線量の測定を行っています。



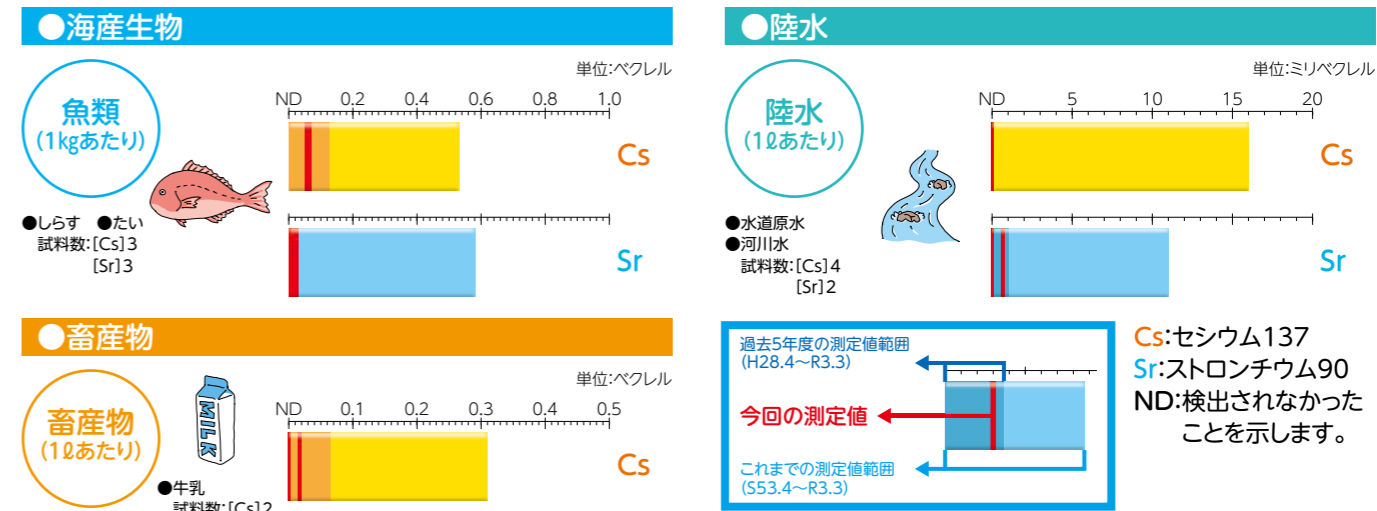
今回の調査結果は、これまでの調査結果と比較し、異常は認められませんでした。



環境試料の放射能分析(令和3年4月～6月)

人工の放射性物質であり、環境における蓄積や被ばくの観点から重要なセシウム137、コバルト60、ストロンチウム90、ヨウ素131等について分析しています。今回は海洋試料11試料、陸上試料34試料、合計45試料を対象としています。

今回の調査結果は、これまでと同様、過去に実施された大気圏内核実験等による影響と考えられる、ごく微量のセシウム137、ストロンチウム90が検出されていますが、異常は認められませんでした。



今回の調査結果については、県のホームページに掲載しています。

鹿児島県 環境放射線調査結果 [検索](#)



空間放射線量の測定結果については、リアルタイムで県のホームページで公表しています。

鹿児島県 環境放射線テレメータ [検索](#)

